

一般質問 (要旨)

市議会ホームページにて一般質問の録画配信と会議録を公開しています。詳細は16ページをご覧ください。

新緑風会

河尻 浩一 議員

教育と福祉の連携について

(質問) ①不登校の支援と連携、②教職員の働き方改革、③教育と福祉の連携を推進する事業、④教職員の適切な活用について伺う。

(答弁) ①教育支援課・子ども家庭支援課が連携を図り不登校対策を早期に解決できるよう全小学校に校内適応教室の設置を検討。②9月から給食の公会計化を実施し、教職員が子どもの教育活動に専念できるよう取り組む。③すずっこファイルの全新生児配付により支援の充実につなげる。④研修を受けた教職員は適材適所で活用。指導主事増員はICT教育の活用に非常に効果があった。



市民クラブ

中村 浩 議員

鈴鹿市、津市、亀山市の消防指令業務について

(質問) 鈴鹿市、津市、亀山市の3市による消防指令業務の共同運用について、今後どのように進めていくのか。

(答弁) 連携協力における地方自治法上の手続きとなる協議会の設置について規約を定め、津市、亀山市と協議する議案を令和4年9月定例議会に提出予定である。令和4年度下半期には、法定協議会の運営を開始し、令和5年度に消防共同指令センターの整備に係る実施設計を行うとともに、令和6年度から令和7年度にかけて整備工事を実施し、令和8年度から運用を開始したい。



鈴鹿太志会

水谷 進 議員

防災について

(質問) 災害時における車中泊避難者に対しても、安全で安心した避難生活のための支援体制は、自治体の重要な役目であると考えている。

(答弁) 車中泊避難は、エコノミークラス症候群対策、避難者の情報把握、救助物資の提供や駐車スペースの確保など、さまざまな課題がある一方、新型コロナウイルス感染症の影響で密閉空間、密集場所、密接場面を避けることなどが推奨されている現状を踏まえると、車中避難者への対策を進める必要性は以前より高まっているものと認識している。



その他の質問 ○官民連携

市民の声

中西 大輔 議員

物価高騰に対する学校給食の対応について

(質問) 物価高騰に対する給食費の対応、国の地方創生臨時交付金の活用、ICTを活用した保護者の意見収集、市内の農業生産と学校給食との連携について、それぞれの考えを問う。

(答弁) 6月時点の考えでは、値上げではなく献立や調達の工夫で対応し、中長期的な影響では改定も視野に入れる。交付金の活用予定はないが、全庁的取り組みの中で協議検討する。給食への鈴鹿産農産物の安定供給について、今後も関係事業者などと連携協議を図っていく。



その他の質問 ○いじめへの取り組み

市民クラブ

永戸 孝之 議員

サッカースタジアム建設について

(質問) 建設費、運営資金などが示されず将来的な見通しの不透明な状態が続いている。スタジアム運営が万が一頓挫した場合も含め大きな財政的損失が生じる。明確なリスク担保、措置内容は。

(答弁) 契約書は交わしていないが、本市と運営事業者との間で設置管理に関する協定書を締結している。解釈疑義の対策は市と運営会社が協議の上決定することを明記している。

その他の質問 ○オーガニック(有機的)食品と国の推進施策、消費者団体アンケート
○変化の時代の先を見据えた課題の多い「子どもと真ん中」政策への取り組み



れいめい

池田 憲彦 議員

公園施設の有効活用について

(質問) 5月に河川防災センターの駐車場で開催したスケートボード体験会には、約250人の参加があった。公園にある利用の少ない既存の施設を、ニーズの高いスケートパークに改修して、公園施設の有効活用を図るべきではないか。

(答弁) 鈴鹿スケートボード協会が実施した体験会は、協会活動の実績の積上げになったと認識している。公園内へのスポーツ施設整備については、関係部局と連携し既存施設の活用など効率的、効果的に対応することを検討したい。

その他の質問 ○非認知能力の育成
○コロナ後を見据えた学校運営

